

北浦地区農地灌漑整備の早期完成へ

答弁Ⅱ令和2年度着工予定
総事業費7億8千5百万円



井上 正臣 議員

集約された農地の多い枝川地域は、後継者の育成や農業の労働軽減に向けた支援事業として積極的に取り組むべきと考える。

安定した農産品の生産拡大に必要な北浦地区農地灌漑施設の早期完成を目指せ。

水田土木課長

北浦地区灌漑対策事業は令和元年度事業採択を受け、現在測量設計積算委託業務を実施している。

施設概要は、取水施設、貯水施設と送水管や配水管などである。

完了は令和4年度を予定している。



北浦地区農地灌漑整備地域

公用車にドライブレコーダーの設置を
答弁Ⅱ設置料570万円必要

井上議員

近年、ドライブレコーダーの映像が事故処理に採用されるようになった。

公用車を使用する機会の多い職員は、事故に巻き込まれる不安が常に付きまとう。

事故に限らず、運転中に問題が起きた時、職員が

後々ストレスを抱えないためにもドライブレコーダーの設置をすべきではないか。

池田町長

現在、町には未設置車両が163台あるが、すべての車両に設置となると約570万円の予算が必要となる。

一括の取り付けは難しいので、遠くに走る機会の多い車両などを優先的に取り付けていく。

友好姉妹都市の
交流活動状況は
答弁Ⅱ積極的な交流が
できていない

井上議員

町は、ブラジル国のコチア市とは、1966年に友好姉妹都市提携がされている。

国を挟んだ交流活動は信頼関係を結び付けるものとして、真心で取り組むべきと考える。今後の対応は。

池田町長

コチア市とは、1966年より姉妹都市を提携し、1996年には、姉妹都市提携30年の記

念式典に当町から参加したことがある。
今後の対応を協議していく。

民俗・教育資料の 保存の現状は

答弁Ⅱ歴史的価値で保存

井上議員

民俗・教育資料や産業遺産の保存と活用を考えるべきでは。

藤岡教育長

歴史的価値のあるものや、教育資料での重要な書類は保存に努めている。観光につながることも協議していく。

生姜のブランド化を
答弁Ⅱ新商品の開発
に取り組む

井上議員

町農業の発展の起爆剤として特産品である生姜の加工品や「ブランド力」を付けて、農家の所得を増やす積極的な取り組みをすべきでは。

岡村産業経済課長

現在、生姜生産、販売拡大プロジェクトのクラスタープランを策定し、農協や商工会、地元の農業者などが、芽生姜を活用した新商品の開発を進めている。今後も加工品の開発に取り組んでいく。

学校給食の地場産品活用は
答弁Ⅱ伝統食文化を伝える

井上議員

「食育」は学校給食の位置付けとして重要である。「食育基本法」をさらなる

実践の機会とした地場産品の利用は児童にとつて興味を高めることにつながる。食育の推奨として、地場産品の活用を望む。

山崎教育次長

学校給食での地場産品の活用は、平成30年度では64.4%となっており、地場産品の活用はできていると考えている。

子どもたちに地産地消を広めたいことから、今後、野菜や、果物に直接触れる機会を食育として取り入れていく。